

エコキッズ25

成和東小学校

伊賀市内の小学校では、それぞれ様々な環境を守る取組を行っています。そうした活動の一端をお知らせします。

5月に「学校環境デー」 6年生は学校周辺のゴミ拾いも

成和東小学校は、旧猪田小学校と旧古山小学校が合併して誕生した学校で、猪田地区と古山地区の子どもたちが通っています。

毎年、5月に環境に対する取組「学校環境デー」で、1年生から5年生は普段なかなかできないグラウンド周りの清掃や草引きを行っていますが、6年生になると、学校の外へ出て周辺のごみ拾いを行っています。

今年度6年生が拾ったゴミを分類して、多かったゴミのランクを作り、お昼の給食の時間にクイズとして放送しました。その結果は、たばこの吸い殻の個数が一番多く、ワーストワンに輝いた(?)ということでした。

学校の周辺は、国道422号線と国道368号線をつなぐ道が通っており、交通量は少なくはありません。そんなことから、たばこの吸い殻のほか空き缶、レジ袋に入ったゴミなどいろいろ集まりました。マナー



の悪い大人が捨てたごみを子どもたちが拾って歩くなると、いかがなものでしょうか。

成和東小学校の皆さん、お疲れさまでした。これからも、自分たちの学校やその周辺がきれいな場所であり続けるためにがんばってくださいね。



あなたのご参加をお待ちしています。お問い合わせは…

伊賀市環境保全市民会議事務局

〒518-0007 伊賀市服部町331-1

TEL 23-2393 FAX 48-6233

発行責任者：伊賀市環境保全市民会議

※本誌バックナンバーが若干残っています。ご希望の方は伊賀市役所環境政策課にお越しいただくか、110円切手を貼った返信用封筒を同封のうえ、事務局までお送り下さい。

伊賀市環境保全市民会議

しぜん

No.84

令和7年(2025年)12月1日発行

豊かな恵みのなかで、
人と自然が共生するまち伊賀

回覧

市民夏のにぎわいフェスタ

リサイクル風鈴づくり



8月21日に開催された「2025市民夏のにぎわいフェスタ」に、伊賀市環境保全市民会議は、今年度も「ペットボトルで作るリサイクル風鈴づくり」で参加しました。

風鈴は、500ml程度のペットボトルの上の部分の部分を切ったものを用意し、そこに参加者が小さなシールやテープをはりつけて、その下にウインドチャイムを取り付けて風が吹くととてもいい音が出るようにしたものです。

参加者からは、「子どもがとても喜んで、ペットボトルを飾っていました。さっそく家に帰って、窓にぶら下げたいですね。」「空のペットボトルも、こういう使い方があるんですね。」など、おほめの言葉を多数いただきました。本町通の天神さんの入り口前で出店しましたが、幸いにも適度な人通りがあり、用意していた60個の材料は、午後3時にはなくなってしまいました。





このペットボトルの工作が、直接環境保全になっているかという、そうではないと思っています。しかし、この事業への参加を通して、伊賀市の環境に目を向けてもらったり、自然環境にやさしい生活を提案することができていると確信しています。

「伊賀市環境保全市民会議」の名前を知ってもらうため、今年も風鈴の短冊に「ようすまい きれいな 伊賀の山や川 伊賀市環境保全市民会議」という文字を入れました。伊賀市に住んでいもっと快適になるように、風鈴の澄んだ音が豊かな自然環境をいざなってくれることを願っています。

市民会議では、今後、このような行事を予定しています。

ぜひご参加ください。どの事業も、年齢等に関係なく参加していただけます。

環境ウォッチング	【第2回】R8年2月8日(日) 午前10時～ 場所 上野森林公園 集合 上野森林公園駐車場 内容 冬鳥を中心にバードウォッチングを行います ※その他 保険代に充てますので1家族100円集金します。	昨年度の 環境ウォッチング	
クリーンウォーキング	【第1回】R7年12月6日(土) 午前9時～(1時間程度) 場所 上野西小学校～上野市街地 本町通り周辺		
環境セミナー	【第2回】R8年1月31日(土) 午前10時～ 場所 伊賀市福祉会館 内容 未定		

令和7年度前期の活動

第1回環境ウォッチング

10月13日(月・祝) 自然観察会

長田地区にある芭蕉の森公園内の動植物を観察しました。当日は、レッドデータブック作成委員会のメンバーも参加し、希少動植物の調査も行いました。



環境ツアー

10月31日(金)

持続可能なエネルギーである水力発電の草分けの「京都蹴上水力発電所」と「滋賀県立琵琶湖博物館」の見学を行いました。

リサイクルケット

11月3日(月・祝)

ごみをなくす取組のひとつとして、応募された出展者によるフリーマーケットを行いました。

環境セミナー

11月7日(金)

稲森市長さんをお迎えし、伊賀市の環境について話し合いました。

レッドデータブック

毎月1回～2回、レッドデータブック記載の動植物の調査をしています。先日の調査で、絶滅危惧種のヤツメウナギ・アカザ・アジメドジョウなどの魚類の確認をすることができました。これからも調査を進めて、2028年には、第2号を完成させたいと考えています。

ゴミのゴミレポート

みなさん、家庭からごみを出すときに悩まれることはありませんか。あるとお答えの皆様は、よりきちんと分別をしたいとお考えの方ですね。ありがたいことです。ゴミラも、そのようにしたいと思いつつ、つい間違った分別をしていることがあります。そこで、はつきりしてしまさず聞けないごみの分別について、調査してきました。



可燃ゴミ

これは燃やして処分するゴミです。でも、燃やすといってもなんでも燃やすわけではありませんね。そうです、燃えるものの中には、リサイクルして生まれ変わる資源ごみが混じります。これを燃やしてしまうと、

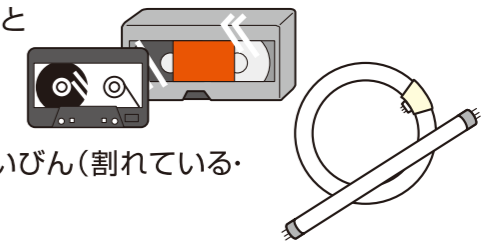
- ① 資源となるものがなくなる(つまり、もったいない)。
- ② 燃やすために手間がかかり処分にかかる費用負担が必要になる(つまり、これももったいない)。

と、いうことで資源ごみは、きっちり分けましょう。伊賀市のごみには、リサイクルできる紙ごみが多く入っているということなので、今一度ゴミを出す際に確認しましょう。

埋め立てごみ

ゴミラが一番悩むゴミで、埋め立てゴミは同じ日に2種類の回収があり、出し方が異なります。

- ① 危険物(カセットボンベ・スプレー缶・使い捨てライターなど)とビデオテープ・カセットテープ等テープ類
それぞれ、ごみ袋に入れて出します。
- ② 電球や蛍光灯・せともの・ガラス・乾電池・リサイクルできないびん(割れている・汚れが取れない・味付けのりのびん)・使い捨てカイロ
ごみ袋に入れず、コンテナに直接入れます。



容器包装プラスチックと硬質プラスチック

同じプラスチックでも回収日が異なりますね。固いか柔らかいかではありません。

- ① 容器包装プラスチック その名の通り商品の入れ物で、プラマークのついているもの
家電製品などの緩衝材、同じ発泡スチロール製でもト口箱などの箱は硬質プラスチックです。
- ② 硬質プラスチック これは、プラスチック製品として販売されているもの。
バケツや食品保存容器など、入れ物として販売されているものです。
容器包装プラスチックのものも、汚れが取れないものは可燃ごみまたは硬質プラスチックで出してください。
※硬質プラスチックの回収日には、木材・革製品・ビニール製品・布団やカーペットなども回収されます。



各地区市民センターをご活用ください。

伊賀市の各地区市民センター(河合・山田地区市民センター、青山支所管内を除く)では、蛍光灯や小型家電製品、体温計などの水銀を含む製品を回収しています。各センターが開いている時に出せますので、ぜひご活用ください。

